



課題が見えた公開保育

文部科学省が幼稚園教育要領で強調している子どもの自発的な活動や遊びは、本幼稚園が伝統的に大切にしてきた教育です。しかし、自分たちが進めている指導方法が、本当に子どもを伸ばすことになっているのか、価値ある指導法なのかを問うために、9月11日(水)に中部地区の幼稚園の先生方に対して公開保育を実施しました。

数年前から研究主題を幼稚園の教育目標と合致させ、「生き生きと活動する子どもの育成」と設定して取り組んでいます。これは、主体的に活動する子どもと同じ意味で、自主的、意欲的、価値追究的の3つが揃って初めて主体的であると考えています。

従って、他に頼らず黙々と活動や遊びを進めていても、幼稚園教育要領で示された活動や遊びの持つ意味や価値、教育要領が示す目標や内容に迫らなければ、単なる遊びでしかないと考えています。ア

誕生会は、よさこいソーラン節で

8月9月生まれの誕生会を、13日(金)に予定していましたが、インフルエンザの影響を考慮し、17日(月)に実施しました。心配したインフルエンザによる欠席者もゼロとなり、みんなで安心してお祝いをすることができました。

年少さんも幼稚園に慣れたのか、名前を呼ばれたら、大きな声で返事ができるようになりました。ステージの上に立った子どもたちは、満面に喜色をたたくえ、お母さんに喜びの合図を送っていました。

誕生会では、毎回、職員による素話と、パフォーマンスを披露しています。今回は、宮川先生による素話「かぐや姫」と全担任による「よさこいソーラン節」の音楽に合わせた竹太鼓の披露でした。始めは先生の太鼓の演奏や踊りに見入っていた子どもたちでしたが、年長の数人が、じっとしていられずに踊り出すと一人増え、二人増えて、とうとう最後には年長さん全員が立って踊り出すというこれまでになかった楽しい誕生会となりました。



そして、目標に迫るために、子どもを取り巻く様々な環境の構成を工夫すれば、子どもたちは自ずから意欲的に活動を繰り返し、意味ある活動を生み出すのではないかという仮説を立てています。

公開保育後の反省会及び感想では、どの先生からも励みになる言葉をいただきました。某幼稚園の先生より、「参加させて頂き、ありがとうございました。本当に子ども達が“自由”に過ごしているのが印象的でした。”自由“というのは簡単・ラクなように思われがちですが、決められたことをこなすだけの方がやりやすいなど日々の保育の中で、私自身感じています。似たような部分もあったので、参考にさせて頂こうと思います。また、たくさん場所に自然があったり、虫や植物、野菜の成長過程など、子ども達が身近に感じられる環境づくりに工夫があり、たくさん写真を撮らせて頂きました。♡自分の園、クラス子ども達に比べて、子ども達がしっかりして見えたが、そんなものなのでしょうか？(笑)(後略)」(原文のまま)

可愛いたんぽぽクラスの秋祭り

25日(水)と27日(金)の2日間に、新園舎で初めてのたんぽぽクラスの秋祭りを実施しました。

新園舎は、2教室をオープンスペースにできるので、昨年度までのセミナーハウスよりも使い勝手がよく、園庭側の通路も利用することができたので、余裕をもって店開きをすることができました。

クラスの入り口には提灯がぶら下がり、子どもたちの中には、浴衣姿もちらほら見られ、秋祭りの雰囲気が出ていました。各コーナーや景品については、毎年、たんぽぽ担当者が工夫を凝らしています。景品の中には、大人目から見ても珍しいものがあります。

運動遊びコーナーや金魚すくい、水風船、的抜きボール投げコーナーなど工夫がいっぱいで、たんぽぽクラスの子どもたちは親子で楽しんでいました。一通りお店コーナーで楽しんだ後は、あちこちで、親子そしてお母さん方の会話の花が咲いていました。企画委員さんには、幼稚園の夏祭りに引き続き、2歳児たんぽぽクラスの秋祭りをお手伝いいただき、ありがとうございました。



お父さんの姿も見られ、和気あいあいとした空気が流れていました。